



## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月14日

上場会社名 フォースタートアップス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7089 URL <https://forstartups.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 志水 雄一郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼コーポレート本部長 (氏名) 菊池 烈 TEL 03-6893-0650  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有（当社HPに掲載）  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	2,206	35.2	487	38.3	488	37.3	345	37.8
2022年3月期第3四半期	1,632	-	352	-	356	-	250	-

（注）包括利益 2023年3月期第3四半期 327百万円（31.9%） 2022年3月期第3四半期 248百万円（-%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	97.50	94.77
2022年3月期第3四半期	73.06	68.94

（注）2022年3月期第2四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2022年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載していません。

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	2,893	1,924	57.6
2022年3月期	2,569	1,485	51.3

（参考）自己資本 2023年3月期第3四半期 1,668百万円 2022年3月期 1,317百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2023年3月期	-	0.00	-	-	-
2023年3月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,800	19.2	500	2.3	500	1.5	370	△3.3	104.35

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	3,546,800株	2022年3月期	3,528,800株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	156株	2022年3月期	75株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	3,545,773株	2022年3月期3Q	3,434,726株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。また、当社は、2023年02月15日に決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料は、当社ホームページに掲載します。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(追加情報) .....	7
(セグメント情報等) .....	8
(重要な後発事象) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループは、2023年1月20日付「過年度決算の訂正のお知らせ」等のお知らせに記載のとおり、売上原価の一部に計上漏れがあることが判明し、2018年3月期以降の決算を訂正し、有価証券届出書ならびに2020年3月期以降の有価証券報告書、四半期報告書、内部統制報告書の訂正報告書を、2023年2月14日に関東財務局長へ提出するとともに、2022年3月期以降の決算短信の訂正開示を行いました。

当社グループは、「(共に)進化の中心へ」をミッションに、「for Startups」をビジョンに掲げ、成長産業支援として「タレントエージェンシー」、「オープンイノベーション」の2つのサービスのほか、「タレントエージェンシー」とのシナジーを創出し、当社グループが定義する成長産業支援をより強固なものとするため、「ベンチャーキャピタル事業」を行っております。

当第3四半期連結累計期間におけるスタートアップ業界を取り巻く環境は、金融資本市場の変動に端を発する世界的な株価低迷により、グローバル市場におけるIPO件数及び資金調達金額が前年比で大きく減少しているなか、国内における2022年の資金調達額は、大企業から子会社への出資を除くと前年比で微増(参照:STARTUP DB 2022年 年間国内スタートアップ投資動向レポート)いたしました。しかしながら、米国をはじめとする主要国において金融市場が引き締めへ転じ、大手企業の大規模な人員削減等、景気後退を見据えた動きが進んでおります。国内においても、物価上昇による消費者マインドの悪化が懸念されており、スタートアップ企業も景気後退を見据え、ランウェイ(企業がキャッシュ不足に陥るまでの残存期間)を引き延ばすためにコストを抑制する等の動きがみられました。

一方で、政府の成長戦略において、産業競争力強化の観点からスタートアップ企業の支援及びスタートアップエコシステム強化の重要性が提唱されております。政府は2022年を「スタートアップ創出元年」と定め、2022年11月に公表された令和4年度補正予算案において、スタートアップ関連事業に約1兆円の補正予算が閣議決定され、2022年11月末には『スタートアップ育成5か年計画』が公表されました。この『スタートアップ育成5か年計画』においては、5年後の2027年度に、スタートアップへの投資額を10倍を超える規模(10兆円規模)とし、ユニコーン(時価総額1,000億円超の未上場企業)を100社、スタートアップを10万社創出することを目標に掲げ、日本がアジア最大のスタートアップハブとして世界有数のスタートアップの集積地になることを目指す方針が打ち出されました。また、①スタートアップ創出に向けた人材・ネットワークの構築、②スタートアップのための資金供給の強化と出口戦略の多様化、③オープンイノベーションの推進、の大きな3本柱の取り組みを一体として推進することも併せて公表され、官民を挙げた取り組みが実行されつつあります。

このような環境の下、当社グループが行う成長産業支援事業は、当社グループがもつ情報やノウハウをベースに、成長見込みが高いと判断したスタートアップ企業(以下、有力スタートアップ企業)に対しての人材紹介、ならびに産学官を巻き込んだスタートアップ関連のサービス・事業を展開しております。各セグメント及びサービス別の経営環境及び経営成績は次のとおりであります。

#### (タレントエージェンシー&オープンイノベーション事業)

##### ・タレントエージェンシー

タレントエージェンシーサービスは、スタートアップ・成長企業向けに人材紹介を中心とした人材支援サービスを提供しております。

当第3四半期連結累計期間においては、マクロ環境の不透明さを背景に、一部のスタートアップ企業において採用ニーズの減少が確認されました。人材紹介サービスは、採用ニーズが相対的に強い有力スタートアップ企業かつ経営幹部層・エンジニアなどの需要・難易度の高いポジションの支援に注力した戦略により、堅調に推移しました。また、採用ニーズの高いクライアントの採用活動をより強力に支援する採用コンサルティングサービス(※)の営業強化が功を奏した結果、採用コンサルティングサービス売上高も高水準で推移いたしました。この結果、タレントエージェンシーサービスの売上高は2,000,260千円となりました。

(※)従来の「採用支援サービス」からサービス名称を変更

##### ・オープンイノベーション

オープンイノベーションサービスは、当社グループが運営するデータベース「STARTUP DB」を活用し、大手企業や官公庁・自治体とスタートアップ企業の連携を促進するサービスを提供しております。当第3四半期連結累計期間においては、成長産業カンファレンスを開催(前期は第4四半期に開催)したことによる協賛金収入を計上いたしました。また、「Public Affairs(※)」や「STARTUP DB」の大企業向けデータベース課金サービスが堅調に推移した結果、オープンイノベーションサービスの売上高は206,363千円となりました。

(※)産学官の連携を主体的に推進し、スタートアップ関連の事業を受託する当社グループのサービス

以上の結果、セグメント売上高は2,206,624千円（前年同期比35.2%増）、セグメント利益は492,623千円（前年同期比39.2%増）となりました。

（ベンチャーキャピタル事業）

当第3四半期連結累計期間においては、前連結会計年度に引き続き管理費用のみが発生していることから、セグメント損失は5,339千円（前年同四半期は1,452千円の損失）となりました。また、当第3四半期連結会計期間において、新たにポケットーク株式会社、株式会社カケハシへの出資を行い、投資先企業は5社となりました。

なお、当セグメントには、子会社であるフォースタートアップスキャピタル合同会社、及び同社を通じて組成したフォースタートアップス1号投資事業有限責任組合が含まれております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は2,206,624千円（前年同期比35.2%増）、営業利益は487,284千円（前年同期比38.3%増）、経常利益は488,907千円（前年同期比37.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は345,725千円（前年同期比37.8%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (2022年12月31日)	対前期増減
資産（※1）	2,569,038	2,893,687	324,649
負債（※2）	1,083,493	969,630	△113,863
（うち、有利子負債）	183,338	95,840	△87,498
純資産（※3）	1,485,544	1,924,057	438,512

主な対前期増減の内容

（※1）現金及び預金（153,063千円）、営業投資有価証券（103,024千円）、売掛金（31,378千円）

営業投資有価証券の増加はベンチャーキャピタル事業による株式の取得であります。

（※2）未払金（△27,464千円）、未払法人税等（△78,645千円）

（※3）利益剰余金（345,725千円）

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年1月20日付「過年度決算の訂正に関するお知らせ」のとおり、過年度及び進行期の売上原価の一部に計上漏れが判明いたしました。本件が当期業績に及ぼす影響額を踏まえ、2023年1月20日付「2023年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、2023年3月期の通期業績予想を修正し、売上高は2,800百万円、営業利益は500百万円、経常利益は500百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は370百万円と予想しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,717,761	1,870,824
売掛金	272,034	303,412
営業投資有価証券	154,685	257,710
その他	22,816	75,692
流動資産合計	2,167,298	2,507,639
固定資産		
有形固定資産	135,956	125,485
無形固定資産	2,879	81
投資その他の資産	262,904	260,481
固定資産合計	401,740	386,048
資産合計	2,569,038	2,893,687
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払金	614,457	586,993
1年内返済予定の長期借入金	116,664	83,340
未払法人税等	81,530	2,885
未払消費税等	68,980	56,363
賞与引当金	58,338	39,251
その他	76,848	188,297
流動負債合計	1,016,819	957,130
固定負債		
長期借入金	66,674	12,500
固定負債合計	66,674	12,500
負債合計	1,083,493	969,630
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	224,331	226,446
資本剰余金	224,331	226,796
利益剰余金	869,354	1,215,079
自己株式	△286	△540
株主資本合計	1,317,730	1,667,781
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18	380
その他の包括利益累計額合計	18	380
新株予約権	2,332	13,640
非支配株主持分	165,463	242,254
純資産合計	1,485,544	1,924,057
負債純資産合計	2,569,038	2,893,687

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	1,632,077	2,206,624
売上原価	347,865	387,024
売上総利益	1,284,212	1,819,600
販売費及び一般管理費	931,853	1,332,315
営業利益	352,358	487,284
営業外収益		
受取利息	5	6
投資事業組合運用益	3,033	—
施設利用料	—	1,000
雑収入	1,275	2,317
営業外収益合計	4,314	3,324
営業外費用		
支払利息	500	598
投資事業組合運用損	—	1,101
その他	—	1
営業外費用合計	500	1,701
経常利益	356,172	488,907
税金等調整前四半期純利益	356,172	488,907
法人税、住民税及び事業税	113,513	156,497
法人税等調整額	△5,454	5,544
法人税等合計	108,059	162,041
四半期純利益	248,113	326,866
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,819	△18,858
親会社株主に帰属する四半期純利益	250,932	345,725

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	248,113	326,866
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18	362
その他の包括利益合計	18	362
四半期包括利益	248,131	327,228
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	250,950	346,087
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,819	△18,858

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う会計上の見積りについて)

前事業年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した、新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定及び会計上の見積りについて、重要な変更はありません。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の収束状況によっては、将来において当社グループの財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			四半期連結 損益計算書 計上額
	タレントエージェンシー& オープンイノベーション事業	ベンチャー キャピタル事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	1,632,077	—	1,632,077	1,632,077
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	1,632,077	—	1,632,077	1,632,077
セグメント利益又は損失(△)	353,810	△1,452	352,358	352,358

(注) 報告セグメントの利益又は損失は、営業利益ベースの数値であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			四半期連結 損益計算書 計上額
	タレントエージェンシー& オープンイノベーション事業	ベンチャー キャピタル事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	2,206,624	—	2,206,624	2,206,624
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	2,206,624	—	2,206,624	2,206,624
セグメント利益又は損失(△)	492,623	△5,339	487,284	487,284

(注) 報告セグメントの利益又は損失は、営業利益ベースの数値であります。

2. 報告セグメントの変更等に関する情報

前連結会計年度より、投資事業開始に伴う社内管理体制の変更により、報告セグメントを従来の「成長産業支援事業」の単一セグメントから「タレントエージェンシー&オープンイノベーション事業」と「ベンチャーキャピタル事業」の2区分に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを記載しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。